

令和 4 年 6 月 1 日

小金井市市長 西岡 真一郎 様

小金井市立くりのみ保育園 父母の会  
会長 小寺 貴之

**「性急な市立保育園条例の改正案の市議会上程を取り止め、  
公立保育園のあり方について我々利用者や専門家・関係者と  
十分な協議・検討を求める要望書」について (要望)**

平素より子育て施策にご尽力いただき誠にありがとうございます。

くりのみ保育園 0 歳児保護者より添付「性急な市立保育園条例の改正案の市議会上程を取り止め、公立保育園のあり方について我々利用者や専門家・関係者と十分な協議・検討を求める要望書」についての意見が提出され、次の 3 つの要望を行っております。

1. なぜ廃園にしなければならないのか、改めて当事者となる私たちが納得できる説明をしてください。また、理解・納得をするまでは 0 歳児募集を止めるような廃園への準備行為は行わないでください。
2. 専門家・関係者を入れた場で、公立保育園の役割や今後のあり方を協議・検討を行ってください。
3. 市民や専門家を含めて十分に検討をした結果として、それでも廃園を避けることができないのであれば、せめて、当事者となる子ども達の心身への影響を最優先に考えた方法・スケジュールを示してください。また、上記についても運協や第三者を入れた審議会で行っていただき、私たち保護者が納得できる内容を示してください。

これらの点については、0 歳児保護者の切実な訴えとして何卒御理解・ご要望を受け入れて頂きたく、  
お願い申し上げます。

また、我々くりのみ保育園 父母の会としましても、これまでの市から保護者への説明会等の場で多くの質問や疑問点をお伝えしてきました。しかし、その後の市からの回答はこれまでの説明と変わらず、その後のパブリックコメントなどでも十分な説明となっていないことから、市の方針については理解・納得ができないため、現状のままでの取り進めには反対を致します。よって、我々くりのみ保育園 父母の会としても、改めて保護者との対話、運協や審議会での十分な検討など、上記 3 点を強く要望致します。

本要望につきましては 6 月 15 日 (水) までに、くりのみ保育園 父母の会宛に書面郵送にてご回答ください。何卒よろしく願いいたします。

以上

令和 4 年 6 月 1 日

小金井市市長 西岡 真一郎 様

小金井市立くりのみ保育園 0 歳児保護者一同

**性急な市立保育園条例の改正案の市議会上程を取り止め、  
公立保育園のあり方について我々利用者や専門家・関係者と  
十分な協議・検討を求める要望書**

平素より子育て施策にご尽力いただき誠にありがとうございます。

私たちはくりのみ保育園にお世話になり 2 ヶ月が経ちました。園庭がある豊かな環境で、配慮が行き届いた質の高い保育を受けることができ、園の皆さま方には感謝の言葉もございません。

そんな中、令和 4 年 5 月 18 日に「新たな保育業務の総合的な見直し方針」という資料が配られました。家事・仕事、幼い子どもの育児がある中、読み進めるのも難しい文書には、公立保育園の段階的縮小の後に「廃園」することが決定事項かのように記していました。なお、今現在でも、この資料について市からの説明はありません。私たちは、この資料が突然届いた日から、驚き、戸惑い、また今後の保育園生活に対し強い不安感を抱いています。

私たちが入園の際に配られた「入園のしおり（重要事項説明書）」には、廃園についての記載がありました。また、市への提出書類である「重要事項確認書」には、『十分に確認し、理解し入園します』という内容にサインをしなければなりませんでした。

廃園について納得ができていなくても、サインをしないと入園ができないかもしれない状況に、違和感と不安感の中サインをしたのが数か月前です。

「その可能性があることを知った」ということと「納得している」ということは全く異なります。廃園の方針は知っていても決定ではなく、廃園ではない解決策が選択肢としてあり得ることも理解をしていました。よって、資料に記載された廃園という選択肢に至る理由は納得するには難しく、また当事者を置き去りにした進め方には憤りを感じています。

つきましては、以下を強く要望いたします。

**【要望】**

1. なぜ廃園にしなければならないのか、改めて当事者となる私たちが納得できる説明をしてください。また、理解・納得をするまでは 0 歳児募集を止めるような廃園への準備行為は行わないでください。

2. 専門家・関係者を入れた場で、公立保育園の役割や今後のあり方を協議・検討を行ってください。
3. 市民や専門家を含めて十分に検討をした結果として、それでも廃園を避けることができないのであれば、せめて、当事者となる子ども達の心身への影響を最優先に考えた方法・スケジュールを示してください。また、上記についても運協や第三者を入れた審議会で行っていただき、私たち保護者が納得できる内容を示してください。

「新たな保育業務の総合的な見直し方針」で示されたスケジュールと進め方は、あまりに唐突で子どもを置き去りにしたものであると感じました。

私たち0歳児クラスの保護者も対象となるものですが、文書が配布されただけで何の説明もありません。この度のことを受け、改めて0歳児保護者全員を対象に調査を行ったところ、**0歳児保護者全員がこの進め方に納得していないことが明らかになりました。**

納得していない点は主に以下となります。

- ① 廃園しなければならない理由が、園舎の老朽化や予算や経費上の課題など、行政経営上の課題の齎寄せによるものであり、子どもの最善の利益を第一としたものでないこと。
- ② 子ども達の心身への影響を考慮した進め方ではないこと。
- ③ 利用者はもとより、専門家や市民との十分な協議も行われず、結論ありきの性急な取り進めとなっていること。

保育園は、ただの箱ではありません。保育士は、ただの人件費ではありません。

保育園が担っているのは子ども達の未来です。

どうかどうか、慎重に検証し丁寧な対応をお願いいたします。

対象となる保護者すら納得できていない中、廃園案を市議会に上程するなどの行為はやめてください。強く要望いたします。

以上